

【学校の教育目標】	ふるさとを愛し 心も体もたくましい子 考える子 思いやる子 じょうぶな子
【めざす子どもの姿】	ふるさに学び 高い志をもって 時代を切り拓く子 授業がよく分かる ・ 学校が楽しい ・ 自分にはよいところがある

【中間目標と方策】

《考える子》	《思いやる子》	《じょうぶな子》
◎学ぶ楽しさを実感し、問題解決能力と主体的に学ぶ態度を身に付ける。	◎自他を尊び、互いに学び、励まし、高め合う態度と他者を思いやる心を育てる。	◎心身を鍛えるとともに、自分の命を自分で守る能力を身に付ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ喜びを実感する指導を充実する。 ・各種調査を活用し、実態に応じた基礎的な学力及び応用力を向上させる。 ・学習習慣の確立のための宿題、自習学習のための予習・復習の出し方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと（地域の人材・歴史・文化・自然）から学び、高い志をもって共に生きる。 ・他者とのふれあいの中で、自尊感情、自己肯定感を高める。 ・他者との関わりを通して、思いやりの心を育て、いじめ・不登校のない学校をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や実態に応じた体力の向上を図る。 ・命を守る訓練等を通して、危険予知能力を高め、危機回避行動がとれるようにする。 ・危機管理意識を高め、早期発見、対応、見届けに徹する全校体制を確立する。

【元年度の重点目標・方策と評価】

○主体的な学びと家庭学習の充実による基礎的な学力と活用力の向上を図る。	○ふるさとや仲間、自分のよさに気付き、思いやりの心を育て自己肯定感を高める。	○危機管理意識をもち、子どもたちの体力向上と命を守る教育を充実する。
①主体的・対話的で深い学びの授業づくり 【よく分かる 85%以上】 ・「青墓小の授業はこれだ!!」の徹底（必然性のある課題提示、対話による課題解決、「のび」を実感する終末） ・「返事」「姿勢」「話す」「聞く」の学習規律の確立 ②「活用力」を育てる授業改善 【教師 80%以上】 ・全国学力学習状況調査等、各種調査結果の分析に基づく実態把握 ・活用力の育成を視点とした算数科の研究実践の積み上げ ③計画的な家庭学習習慣の定着 【計画的な学習 80%以上】 ・時間の確保 学年×15分以上 ・授業とリンクした自主学習	①地域学習への主体的な参加 【満足度 80%以上】 ・「志」がもてるふるさと学習の充実（青小まつり） ・大垣の「よさ」を知るふるさと大垣科の推進 ②自分に「自信」、学校に「誇り」のもてる自己肯定感の育成 【よいところがある 78%以上】 ・褒めて伸ばす指導の徹底（1時間に10回以上褒める） ・「よさみつけ」を生かす学級経営の推進（よいことみつけ） ③児童会の自治活動の創意工夫 【学校が楽しい 80%以上】 ・JRC活動、「いじめ0宣言」の推進（ひびきあい活動） ・「けやきっ子活動」（縦割り活動）の工夫 ・「あおはか四つ星」の設定	①体力測定の結果分析に基づく体力・持久力の育成 【体力テスト全国平均並】 ・体育授業の充実（補強の種目練習・運動量の確保） ・休み時間での外遊びの奨励 ②命を守る訓練の計画と実施 【教師 80%以上】 ・想定を変えた訓練の実施 ・ヒヤリハットの共有と短時間での危険予知訓練の実施 ③怪我や事故のない安全な生活 【怪我 10%減少、交通事故 0】 ・校内での事故や怪我防止（廊下歩行、教室内の過ごし方、正しい遊具の使い方） ・校外での安全指導（登下校指導・帰宅後の外出時の交通事故防止・不審者・災害対応）
★あかるいあいさつ	★おおきな声で発表	★はきはき返事
★かんしゃの気持ち		

【めざす教師の姿】

【めざす家庭・地域連携】

○教師の働き方改革の推進と資質・能力の向上	○地域に開かれた教育課程の推進
①長時間勤務・多忙化解消【教師 75%以上】 ・時間外勤務時間：月 60 時間以内 100% ・リフレッシュディ（水曜日）の徹底 ・会議の効率化（終了時刻の設定、時間配分） ②指導力の向上【教師 80%以上】 ・危機管理意識の高揚（早期発見・対応・見届け） ・若手教員の育成（学年体制、教科・学級経営力） ・特別な支援を要する児童への対応	①家庭の教育力の向上・PTAとの連携 【保護者 80%以上】 ・PTAとの連携（旗当番・家庭教育学級等） ・家庭への啓発（家庭学習・情報モラル・通信等） ②地域の教育力の結集【保護者・教師 80%以上】 ・学校支援ボランティア（学習・環境・安全） ・学校から地域へ（イベント参加・だより・HP） ・地域から学校へ（関係機関・大学・園小連携）

